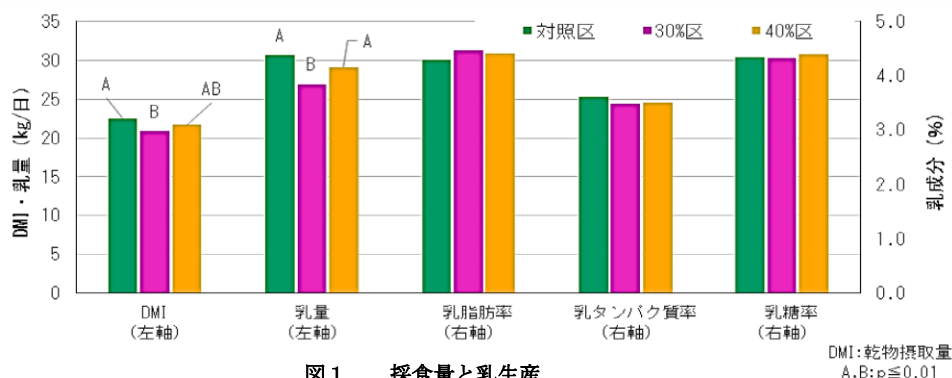


## 高糖分高消化性稲「たちすずか」WCSの 乳牛への給与技術

高糖分高消化性稲ホールクロップサイレージ（WCS）は、茎葉部の糖含量と繊維消化性が高く従来品種 WCS を給与している酪農家の期待は高まっています。そこで、群馬県畜産試験場は、千葉県畜産総合研究センターおよび長野県畜産試験場との協定研究において、関東東山地域で生産された高糖分高消化性稲「たちすずか」WCS の嗜好性、発酵品質および適切な給与水準等の特性を明らかにするため、泌乳中後期の乳牛へ給与し、乳量、乳成分および飼料摂取量に及ぼす影響について検討しましたので紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 糊熟期～黄熟期に調製した「たちすずか」WCS でチモシー乾草を 30 %単純代替した 30 %区と、飼料成分を調整し「たちすずか」WCS を 40 %混合した飼料を発酵混合飼料（発酵 TMR）に調製し、給与します。
2. 乾物摂取量（DMI）は、対照区 22.5kg/日、30 %区 20.8kg/日および 40 %区 21.7kg/日でした。乳量では、対照区 30.6kg/日、30 %区 26.9kg/日 および 40 %区 29.1kg/日となり、40 %区では対照区と同等の乳生産が可能です（図 1）。
3. 「たちすずか」WCS を多給した泌乳牛の血液生化学性状およびルーメン液性状は、正常値の範囲内で影響はありません。



### ☆活用面での留意点

1. 30 %区では、乾物摂取量（DMI）、乳量がともに減少して生産性が低下する可能性があり、WCS の飼料成分の分析や給与飼料の調整が必要です。
2. 本成果は、委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発（栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発）」により得られた成果です。
3. 詳しくは、群馬県畜産試験場酪農係（TEL 027-288-2222）、千葉県畜産総合研究センター乳牛肉牛研究室（TEL 043-445-4511）、長野県畜産試験場酪農肉用牛部（TEL 0263-52-1188）に問い合わせ下さい。

（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男）